

第1回 北九州空港滑走路延長事業環境影響評価技術検討委員会
(議事要旨)

日時：令和3年2月4日(木) 13:00～15:00
場所：旧大連航路上屋

出席委員：上田直子(北九州市立大学 名誉教授)
岡田恭明(名城大学 理工学部 教授)
川崎実(日本野鳥の会 北九州代表)
野上敦嗣(北九州市立大学 国際環境工学部 教授)
松藤康司(福岡大学 名誉教授)

<敬称略：五十音順>

議事要旨

1. 委員会の設立

- ・運営要領(案)が承認された。(令和3年2月4日付けで施行)
- ・委員の互選によって、松藤委員が委員長に選出された。
- ・委員会の議事録は、意見及び質問、事務局の回答及び対応から構成される要旨とし、HPにて公表する旨、合意された。

2. 環境影響評価法に係る手続きについて

- ・事務局より、環境影響評価法に係る手続きについて説明を行った。

3. 北九州空港滑走路延長事業に係る計画段階環境配慮書(案)について

- ・北九州空港滑走路延長事業に係る計画段階環境配慮書(案)について、事務局より説明を行い、以下の質疑及び助言がなされた。

【地域概況】

委員：気象について、平成22年から平成31年までを整理しているが、近年5年間は気象の変化が大きいため、時間降水量、台風の進路などデータを精査しうえで整理されたい。

事務局：検討し、反映してまいりたい。

【大気質・騒音】

委員：貨物便の増加に伴い、アクセス道路での交通量が増加し、近隣住民への騒音や大気質等の影響が考えられる。北九州空港本稼働後の苦情状況の変化や、現況の交通量、将来の交通量について、今後、影響の程度を検討されたい。

事務局：検討し、反映してまいりたい。

委員：騒音について、今後計画が進んでから航空機の運航に伴う騒音について方法書以降の環境影響評価の段階で予測評価をされたい。

事務局：今後の環境影響評価の手続きの中で、予測評価の実施を検討する。

【動物（鳥類）】

委員：空港島南側のアシ原に絶滅危惧種に指定されているチュウヒが確認されている。チュウヒは冬鳥だが、年中生息しているとの報告も挙がっている。人が立ち入らないアシ原は鳥にとっての安全地帯であり、繁殖している可能性がある。今後の調査の対象としてチュウヒの繁殖について十分に確認されたい。

事務局：今後実施する調査において詳細を明らかにするよう検討する。

委員：曾根干潟に来ている冬鳥のクロツラヘラサギが、曾根干潟、今川河口、新北九州空港連絡橋付近の埋立地で採餌をする群れが、採餌後、空港島へ移動していることが確認されている。空港島北側の第三工区の陸地部分と水面部分と別れているところで休憩や採餌をしている可能性がある。今後の調査の対象として検討されたい。

事務局：今後実施する調査において詳細を明らかにするよう検討する。

委員：動物（鳥類）の評価結果のバードストライク発生の変化の程度について、現況と同程度としているが、北風運用時の着陸経路が南側に移動するため、鳥類の生息環境の可能性のあるヨシ群落に近づくことからバードストライクが増えることが考えられるが、一方で、事業の実施により鳥類の生息環境とされるヨシ群落は一部が航空灯用地として埋め立てられること生息する場所が変化し、差し引きで影響は同程度になるように思う。バードストライクが変化する要因について整理し、詳細に記載することを検討されたい。

事務局：検討し、反映してまいりたい。

委員：南側延長案は既存の空港島であるので海には影響がないかと思われる。鳥類が最も大きな影響になるようにと思われる。鳥類について過年度調査は10以上前のため、地形や植生が変化し、確認される鳥類も変化している可能性がある。例えば、コアジサシは平成20、21年には多く確認されたが、現在は確認されないのではないか。今後の調査において詳細を把握されたい。

事務局：一部調査は開始しているところである。冬から秋にかけて1年間、飛行行動や分布状況も含めて調査を行うこととしている。今後明らかにするよう努める。

委員：動物（鳥類）について、コアジサシは埋立地の砂礫地が残る場所でコロニーを作成し、集団繁殖する。南側は埋立が進んでいるが、北側埋立地には水面も残っているため、確認される可能性がある。今後の調査の対象とされたい。

事務局：北側の埋立地は別事業であるため、まずそちらのアセスメントの事後評価を確認させていただく。情報があれば、本事業の環境影響評価手続きとは別に情報提供することとさせていただきたい。

【その他】

委員：事業実施想定区域と調査対象区域について、事業実施想定区域は人工島、調査対象区域は北九州市門司区、同市小倉南区、苅田町としているが、方法書、準備書においても同様か。

事務局：同様である。

委員：南海トラフ地震の影響についても、津波の影響や対策などあれば詳細に示されたい。

事務局：ご指摘を踏まえ、反映してまいりたい。

委員：北九州空港が造られた際の環境影響を把握していないため、環境影響や関連する別事業の事後評価について、例えば参考資料のような形で、本事業の環境影響評価の手続きの中に反映できないか。

事務局：今後の環境影響評価の手続きの中で、ご指摘を踏まえ、検討することとさせていただきます。

4. その他

・事務局より、今後のスケジュールについて説明を行い、以下の助言がなされた。

【公告縦覧】

委員：現在のアセスメントの公告縦覧について、動画や画像をホームページ上で掲載するような取組が自治体で広がっている。コロナの状況が続くなか、そのような取組を今後検討されたい。

事務局：ご指摘を踏まえ、可能な範囲で検討する。